

県安管協会ニュース

令和2年12月

№24

Tel022-361-0313

fax022-362-3801

e-mail

info@kenankan.or.jp

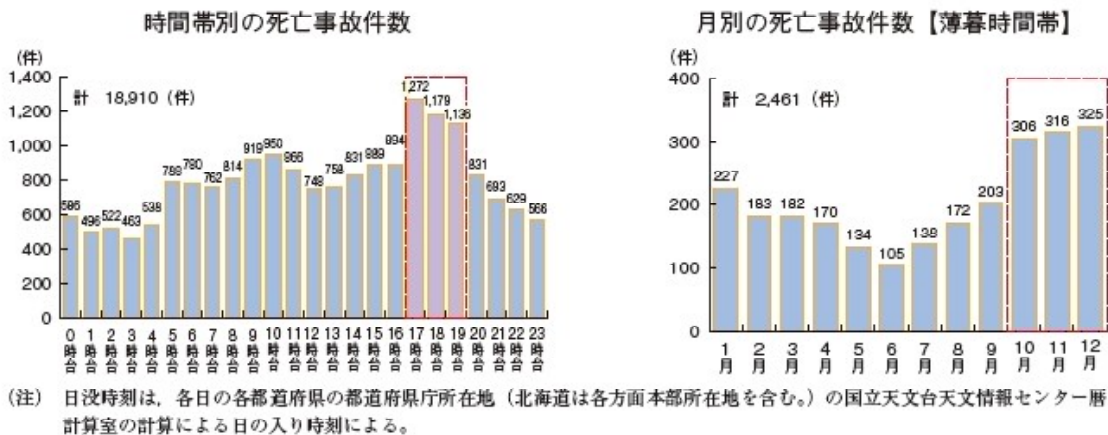
(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転事業主会連合会

12月に交通事故が多発する理由は？

【12月の交通事故が多い理由】

12月は、1年のうちで最も交通事故が発生するといわれています。12月以外にも3月、7月、10月、11月は交通事故が多発しますが、これらは行楽シーズンにあたり、交通量が増加するためと考えられています。12月も帰省や年末旅行、業務交通の集中などにより交通量の増加がありますが、他の月と比べて突出しているのはなぜでしょうか。交通白書(令和元年版)の全国統計によると、薄暮時間帯である17時～19時の間に多く発生しています。更に薄暮時間帯の死亡事故件数を月別に見てみると、10月～12月にかけて大幅に増加しています。日没時間が遅い6月と比較すると約3倍も死亡事故が起きやすいことが分かります。

図 時間帯別・月別の死亡事故件数(平成26年～平成30年)



〈内閣府交通白書から引用〉

【宮城県でも12月に大きな波】

右のグラフは、令和元年の月別交通事故死者数と過去5年間の平均を表したものですが、3月、5月、7月～9月に増加の波があり、いったん収束後12月に一番大きな増加の波があることが分かります。令和元年は9件の死亡事故が発生しています。宮城県も全国的な傾向と同じ傾向を示していることがお分かりと思います。

報道によりますと、12月8日午後10時10分頃、仙台市青葉区鷺ヶ森の県道において、バイクと歩行者の衝突事故が発生し、歩行者の方が意識不明の重体とのことで、いち早く様態が安定することを祈りたいです。

コロナ感染症の大きな波の真っ只中にありますが、交通死亡事故の波とともに一人一人の注意と努力によって、災禍を克服しましょう。 -by:chiba-

